

🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年1月21日

【2019年1月12日～2019年1月18日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対米ドルで下落した一方で、対円では横ばいとなりました。また、2年国債金利は低下しました。ブラジル国内では年金改革について連日様々な報道がなされていますが、議会再開が2月であるため、金融市場の反応は限定的になっています。

ゲデス経済相と会談を行ったロレンゾーニ官房長官は記者団に対し、28日（現地）に予定されているボルソナロ大統領の手術までに年金改革法案に対する大統領の承認を得られる、との自信を示しました。一方現地紙は、国民に犠牲を強いる年金改革を実現するために、ボルソナロ大統領は自身の出身母体の軍人年金についても踏み込んだ決断が迫られる（軍人年金は独立した、より寛大な制度となっている）と指摘しています。仮に軍人年金を年金改革から除外した場合、他の年金制度についても譲歩を迫られる可能性が高くなるため、年金改革の実現性に疑義が生じると懸念されています。

経済指標に関しては、11月の小売売上高や経済活動指数などの発表がありました。11月の小売売上高は大統領選挙の不透明感による買い控えの反動や、ブラックフライデー商戦の影響から前月・前年比ともに大幅に上昇しました。また、11月の経済活動指数についても前月・前年比ともに上昇しました。

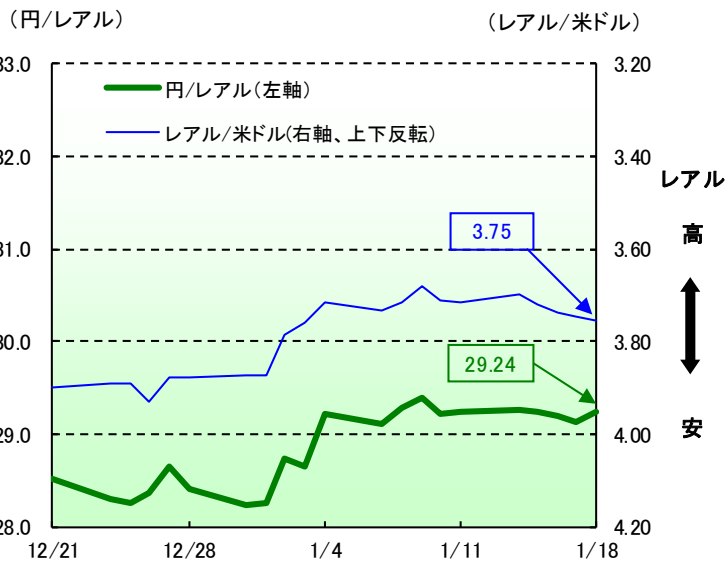
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革の今後の展開については、2月の第一週にも年金改革法案が議会へ提出されるとみられていますが、3月初旬にリオのカーニバルが行われるため、議会での投票はカーニバル終了後になりそうです。それまでブラジル・レアルの動向は、中国の景気動向や米中貿易摩擦の進展などの外部要因に左右される展開になると考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

（2018年12月21日～2019年1月18日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

（2018年12月21日～2019年1月18日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>